

| テレワークの種類 | 在宅勤務 | モバイルワーク | サテライトオフィス | 狙い | 生産性向上 | 移動時間短縮 | 非常時の事業継続 | 顧客満足度向上 | WLB向上 | オフィス費用削減 | 通勤弱者対応 | 創造性向上 | 優秀な人材確保 | 省エネ・CO2対策 |
|----------|------|---------|-----------|----|-------|--------|----------|---------|-------|----------|--------|-------|---------|-----------|
| | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

企業の概要

| | | | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 社名 | 株式会社サーバーワークス | 都道府県 | 東京都 |
| 業種 | 情報通信業 | 従業員数 | 63名 |
| 事業概要 | 1.クラウドコンピューティングを活用したシステム企画・開発及び運用 2.インターネット関連システムの企画・開発及び運用 3.Saas/ASPサービス/IT商品の企画・開発及び運用 | | |

テレワーク実施概要

| | |
|-------------|---------------------------------------|
| 雇用上の規定 | 別途ルール策定 |
| テレワーク推進担当部門 | シェアードサービス部 経営企画課 |
| テレワーク対象者 | 63名(全職種・全社員) 直属の上長がその必要性を勘案し、承認した者 |
| 実施者数 | 55名 |
| 実施日数 | 概ね週1回～2回 |

テレワークの導入・拡大の経緯

人材確保が困難だと言われている昨今、弊社でも、採用の領域を広げ、地方で活躍する優秀な人材も積極的に採用したいと考えておりました。採用活動のなかで、その土地を離れることができない事情を持つ人材や、介護や育児の理由から、地方に移り住みたいと考える人材に多く出会いました。このままでは優秀な人材を逃してしまう、という危機感を感じ、働く場所、働き方の多様性を認める制度作り着手してきました。

また、我々は「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」というビジョンを掲げ事業を推進しています。このようなビジョンを掲げている以上、まずは我々自身がクラウドを活用した働きやすい会社となるための努力をする必要があると考え、クラウドを駆使した働き方の仕組みやルール作りに取り組んでいきます。

テレワークの概要・特徴

①生産性向上を目的としたテレワーク『クラウドワークスタイル制度』

誰にも話しかけられない空間で集中して仕事がしたい時、通勤のストレスから解放され、通勤にかかるエネルギーを仕事に投入したい時など、より効率良く勤務をすることを目的として策定、導入した制度です。

- ・必ず実施前日の12:00までに事前申請を行い、上長の承認を受けること。
- ・事業場外みなし労働時間制を適用し、10:00～19:00(うち休憩1時間)とみなします。

②家族の介護や本人の体のケアを目的としたテレワーク『クラウドワークスタイルライフ制度』

上記の理由から、出勤することが難しい場合に、自宅で仕事をすることを指します。

- ・事前申請をしていない突破的な場合でも、上長が承認すれば利用可能とします。
- ・上長がリモートで勤務状況を管理監督するため、労働時間はみなしとせず実労働時間で判断します。

③物理的にオフィスへの勤務が難しい社員に適用されるテレワーク『マイホームマイオフィス制度』

以下のケースに該当し、会社が特別に認めた者にのみ適用します。

- ・地方の自宅で勤務することを前提に採用された者。
- ・家族の介護などの目的で、オフィスへの通勤が困難な場所に自宅を引越し、そこで勤務することを会社が認めた者。
- ・その他、本人より申し出があり、かつ会社が特別に認めた者。
- ・上長がリモートで勤務状況を管理監督するため、労働時間はみなしとせず実労働時間で判断します。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

①優秀な人材の採用

2016年8月より入社した従業員は、札幌在住で家庭の事情もあり札幌を離れての勤務が難しいという者でした。テレワークの仕組みが整っていない以前であれば、諦めるか札幌にオフィスを構えるなどの方法を考える必要がありますが、そうすることで頭を悩ませることなく、札幌の自宅にて勤務するという契約で採用に至りました。また、東京や大阪などオフィスがある地域での採用についても、「働きやすい会社」という認識を持たれるケースが多く、順調に進めることができています。

②離職率の低下

2015年度の離職率は13%。2016年度は現在のところ退職者は1名(2%)のみ。離職率は改善の傾向にあります。テレワークが推進され、働き方が多様化し、選択肢が増えたことで弊社に対して働きやすいと感じるようになった社員は少なからず存在するのではないかと分析しています。また、2017年4月より、大学の博士課程を専攻するために長野県に移住しテレワークをしながら、空いた時間で研究をするというスタイルにチャレンジするという社員も出てきました。テレワークの導入によって、新しい働き方のスタイル自体を創出することにもなりました。

③企業のプレゼンス向上

クラウドを活用しテレワークを推進している会社として取り上げられることによって、先進的な会社であるという印象を持たれることが多くなりました。我々は「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」というビジョンを掲げ事業を推進しています。テレワークを導入したことが、ビジョン実現のための具体的な第一歩になったことはまちがいない、このことがメディアなどで取り上げられることで、対外的なプレゼンスが向上したと実感しています。また、弊社オフィスの見学並びにテレワークの仕組みのヒアリングで弊社にいらっしゃるお客様も増加しました。